

×××

主の祈り (93-5A)

天にまします われらの父よ
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ
われらの日用の糧（かて）を、今日もあたえたまえ
われらに罪をおかすものを、われらがゆるすごとく
われらの罪をもゆるしたまえ
われらをこころみにあわせず、悪よりすくいいだしたまえ
国と ちからと さかえとは、かぎりなく、
なんじのものなればなり

アーメン

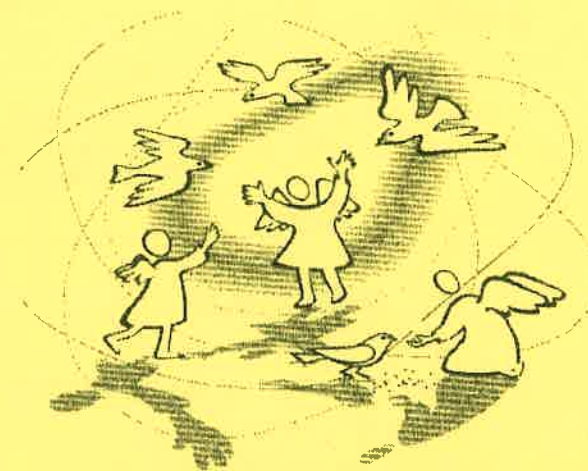
×××

石巻栄光教会宣教基本方針

石巻栄光教会は、主なる神と出会うイエス・キリストの体です。神様が愛している一人一人のかけがえのなさを思い出し、この世界を神様が大切にしていることを思い出す場所です。石巻栄光教会は、希望を生み出します。

私たちは、この社会の現実の中で生きています。教会の中だけでの満足にとどまらず、社会に生きる人々の痛みや苦しみ、あるいは楽しみを共にしていくこと、そして、悩みや不安を分け合って喜びに変えていく教会になることを願います。

また、一人一人の生き方を尊重するとともに、神様から一人一人に与えられている賜物を活かして、神さまと人を愛し、感謝しながら地域に仕えていく教会を目指します。



日本キリスト教団 石巻栄光教会

〒986-0854 石巻市大街道北2丁目12-3

電話/FAX: 0225-22-4090

ホームページ: <http://tohoku.uccj.jp/i-eikou>

メール: i-eikou@tohoku.uccj.jp

振替口座: 02280-8-2810

教会創立: 1887年9月25日

集会案内

聖日礼拝	毎週日曜日	午前10:30
早朝礼拝	毎週日曜日	午前7:30
交わりの会	毎週日曜日	礼拝後
み言葉と祈りの会	毎週水曜日	午後7:30

2026年度標語 『これは、人の意志や努力ではなく、
神の憐れみによるものです』

- ◎ 聖日礼拝を共に守りましょう。
- ◎ 日ごと聖書に聞き、祈りましょう。
- ◎ 家族・地域に福音を届けましょう。
- ◎ 平和を創り出すために働きましょう。

No.2539		2026年9月6日	
礼拝順序			
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前	奏		
招きの言葉		[2] 詩編第29編2節	司会者
讃	美 歌	34	一 同
子どもたちへのお話 あるいは 悔い改めの黙祷			
讃	美 歌	5 7 (3節)	一 同
聖	書	詩篇 1 0 3 編 2 節	
(新共同訳聖書の旧約聖書 9 3 9 ページ・または下記を参照)			
祈	り		司会者
讃	美 歌	5 1 5 (1-2節)	一 同
お	話	「そのすべてのめぐみを 心に」	
		川上直哉 牧師	
讃	美 歌	5 1 5 (2-3節)	一 同
献	金		一 同
報	告		司会者
讃	美 歌	9 0 (3節)	一 同
祝福の祈り			
後	奏		
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。			
*旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。			
*献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
∞○∞○∞○∞○∞ 本日の聖書 ∞○∞○∞○∞○∞			
わがたましいよ、			
主をほめよ。			
そのすべてのめぐみを心にとめよ。			

∞∞∞∞∞∞ 今週の集会 ∞∞∞∞∞∞	
☆ 「讃美歌練習」 9月6日(日) 11:30～	礼拝堂にて
☆ 「フォーサイス」読書会 9月7日(月) 19:30～	オンラインにて
☆ 「御言葉と祈りの時」 9月9日(水) 19:30～	オンライン併用
∞∞∞ 次週の予告 (9/13) ∞∞∞	
☆ 主日礼拝 (お話：中澤竜生 宣教師)	
[聖 書] 第一コリント13章13節	
[お 話] 「愛の章」	
[讃 美 歌] 28 56 聖歌578 88 [招きの言葉] 1	
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
奏 楽	

- ∞○∞○∞○∞○∞ お知らせ ∞○∞○∞○∞○∞
- ✦今後の予定は以下の通りです
- ・9月6日(日)日本基督教団柴宿教会にて礼拝(14時半～)
 - ・9月13日(日)10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当
この日、川上牧師はワイズメンズクラブ国際大会でマレーシアに出張
 - ・9月20日(日)日本基督教団石巻栄光教会創立記念礼拝
 - ・10月8日(木)「すすきだ音楽隊」コンサート(10時半～)
 - ・10月11日(日)日本基督教団柴宿教会で礼拝奉仕(14時半～)
 - ・10月25日(日)地区講壇交換

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	13人	み言葉と祈りの会	6人
早朝礼拝	1人	聖餐式	4人
月 定 献 金		特 別 献 金	
大林健太郎 (6・7月) 渡邊邦子 (7・8月) 早坂恵理加 (10月) 川上恵 (8月)		渡邊邦子 (誕生日・受洗記念・夏期献金) 白井豊子 (夏期献金) 大林健太郎 (ペンテコステ) 阿部雄悦・大和田陽子 (感謝)	
席上献金	¥20,600		

週報別冊

2026 年 9 月 5 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督石巻栄光教会関係】

- 「2026 年 熊本地震救援・復興支援募金」「仙台青年」「楊州（韓国）訪問交流 参加者募集」（仙台 YMCA）：石巻栄光教会敷地内にセンターを構えている団体からの通信です。9 月 30 日までの受付で熊本への支援募金を要請くださっています。
- 「代田教会通信」（日本基督教団代田教会）：川上牧師が行った講演の抄録が掲載されています。また、その感想を記す編集長の山内洋さんのエッセイ「OMEGA」が、巻末に記されています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「良き日のために」（日本基督教団部落解放センター）：6 月 30 日にエマオで行われた「部落解放祈りの日」の礼拝と学習会の報告を大越美穂さん（東北教区センター・エマオ職員）が寄稿しています。
- 「神学校日献金のお願い」（日本基督教団教師委員会）：日本基督教団が教師（牧師）の養成を委ねている「教団立東京神学大学及び認可神学校（関西学院大学神学部、同志社大学神学部、東京聖書学校、日本聖書神学校、農村伝道神学校）」のための献金要請です。今年の目標は「300 万円」とのことです。
- 「能登地震緊急救援募金」（日本基督教団社会委員会）：2026 年 7 月現在「1 億 554 万 3,866 円」が捧げられ、その内訳は「人道支援」に 818 万 9397 円、「教会等再建支援」に 1,062 万 2952 円であり、「輪島教会仮会堂」のために 288 万円等が送金されたことの報告を頂きました。
- 「ともに生きるために」（日本基督教団世界宣教委員会）：ベルギー、ドイツ、インド、マレーシア、フィリピン、台湾、カナダ、米国、ボリビア、パラグアイにある日本基督教団関係教会と日本基督教団派遣宣教師を紹介する冊子を頂きました。

- 「献金報告」「青梅のにじ」「募金のお願い——大規模修繕のために」（にじのいえ信愛荘）：日本基督教団の隠退教師とその配偶者のための老人ホームからの通信を頂きました。

【その他団体・教会関係】

- 「清鈴」（清鈴園運動を支える会）：非常に生々しく 1945 年 8 月 18 日の広島の様子を語る「被爆体験談」（宮田英子さん）等が掲載されています。
- 「国旗損壊罪と信仰・良心の自由～国旗が踏み絵になるの？～」
（君が代強制反対キリスト者の集い大阪実行委員会）：「国旗損壊罪法が施行されればどうなるのか」について、9 月 25 日（金）18 時半から、袴田康裕さん（日本キリスト改革派神港教会牧師）の講演会が行われます。オンラインでも配信されるということです。
- 「SINAPIS」（カトリック大阪高松大司教区社会活動センター）：「8 月 4 日、ガザ市で 112 人の市民を弔う歴史的な集団葬儀が行われました。これはがれきの下で再会を待っている 1 万人の魂たちへの思いを世界に示す儀式でもありました」と報告する「私たちはこの土地を離れない！ がれきの下の殉教者・・・無言の抵抗」（シナピス運営委員 西口信幸さん）等が掲載されています。
- 「支縁」（神戸国際支縁機構）：米軍の襲撃と地震に見舞われたベネズエラ、米軍の攻撃を受けているイラン、再びの大震災に見舞われた熊本、石巻市の永田幼稚園、大震災で市街地が倒壊したコロンビア等への支援活動の報告と献金要請を頂きました。
- 「みやぎ宗連報」「法人研修会」「会員研修旅行」（宮城県宗教法人連絡協議会）：宮城県内の 2000 余の宗教法人で組織する協議会からの通信です。川上牧師が編集長を務める機関誌は、残部がありますので、ご希望の方はどうぞ、お知らせください。

2. 牧師動静

8 月 31 日（月）

日中、教会の「遠足」で鬼首へ行きました。

9 月 1 日（火）

午前中、「初心に帰ってマルコ福音書を読む」を主宰し、午後、仙台で執務し、夜、「支倉国際合唱祭」の練習を仙台宮城野教会で主宰しました。

9月2日(水)

日中、宮城刑務所で教誨活動をし、夜、祈祷会を主宰しました。

9月3日(木)

午前中、一件の訪問をして「大人の教会学校」と聖餐式をし、午後、仙台で宮城県宗教学者連絡協議会常任幹事会に出席しました。

9月4日(金)

日中、カトリック山形教会を訪ねて「全国かくれキリシタン研究会」の会議をし、夕方、エキュメニカルネットワークの講演会にオンラインで参加し、夜、ワイズメンズクラブの役員会に出席しました。

9月5日(土)

日中、みちのく潮風トレイルを歩き、夕方、お一人のお客様を教会にお迎えして接遇しました。

- 今週、川上牧師はマレーシアで開催されるワイズメンズクラブ国際大会に出席します。9月13日(日)は、中澤先生が石巻栄光教会の礼拝を担当下さり、川上牧師はマレーシアでの国際大会の礼拝説教を担当します。海を越えて、共に神さまを称え祝福を頂けますことを、心から感謝しています。

- 10月2日(金)午後7時半から、新しく『生きているだけで救われている』(荒井克浩著)の読書会を、新しく始めます。ご参加くださいます方は、どうぞ、お知らせください。

9月7日(月)

午前中、仙台で仙台キリスト教連合世話人会に出席し、午後、エマオで執務し、午後、フォーサイス読書会をオンラインで主宰します。

9月8日(火)

日中、宮城宣教ネットワーク終了感謝祭に参加し、夕方、仙台 YMCA の会議に出席し、夜、仙台宮城野教会で支倉国際合唱祭の練習を主宰します。

9月9日(水)

夜の羽田発のフライトのために、東京へ向かいます。

9月10日(木)～12日(土)

マレーシアのペナンで、ワイズメンズクラブ国際大会に出席しています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。
日程を調整して、お会いしたく存じます。



猛暑の8月、石巻
栄光教会の川上直哉
先生を講師に平和
の集いが開かれた
▼ボンヘッファーが

ヒトラー暗殺計画の核心メン
バーだった。辺野古沖の転覆事
故(船長は牧師)。植民地から多く
の国が独立し、懺悔と回心の末に
生まれた解放の諸神学が今は見
る影もない。原発事故後、少数者
が切捨てられるフクシマ。平等を
否定し下剋上を廃しキリスト教
禁教を徹底し、戦争のなかった
徳川時代。東北のキリシタンの
足跡。：それらを通して「権力」
という課題に触れられた▼大学
の年間の授業で聞くような内容
を1時間半にまとめてくださつ
た▼「人を使い捨てにするな」と
声を挙げるところ(右も左も無
く)に神は偏在して(その声の側
に)遍在する。(我々が)立ち上が
る時、私はそこにいると神は言
われる。キリストの犠牲。福音―
信仰。▼今わたしたち、あらため
て「平和」を考える。(山内洋)

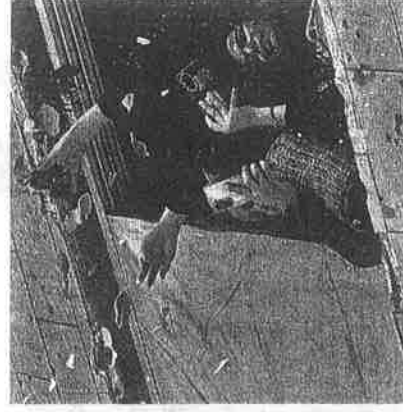
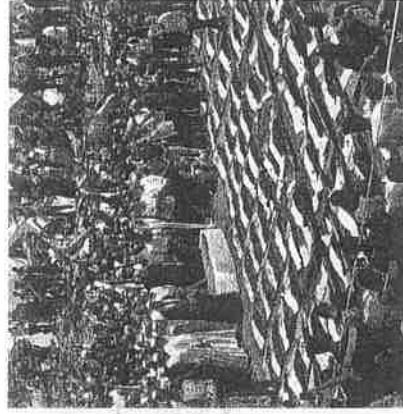
ガザの人々はまるでこの時代に属していないかのようだ！

約3年間、瓦礫の下に埋もれた殉教者の遺体を、ほとんど何の手段も装備もなく、一人ひとり瓦礫の下から掘り起こした。

その後、男たちは殉教者の遺体を肩に担ぎ、悲しみに満ちた女たちは家の窓やバルコニーから花を降らせながら、彼らを最後の旅立ちに送り出した。

おそらくガザの人々は本当にこの時代に属していないのかもしれない。

絶えず不平を言い、忘れ、捨て、鈍感になるこの時代において、ガザの人々は最も重い苦難の中にあって、忠義、誠実さ、優雅さ、そして人間の尊厳を守り続けている。(SNS投稿より)



8月4日、ガザ市で112人の市民を吊る歴史
的な集団葬儀が行われました。これは瓦礫の下
で再会を待っている1万人の魂たちへの思いを
世界に示す儀式でもありました。

2023年11月の爆撃で大家族308人の命が一瞬にして奪われました。ドローン攻撃から逃がれて、長老の建物に逃げた、まさにその瞬間…F-35戦闘機が次々と重爆弾を投下…そして、全員が殺されました。…一人残らず…！

重機の搬入阻止により、遺体は今でも瓦礫の下に閉じ込められたままです。イスラエル軍の最後の人質返還で数人の捜索のため、赤新月社の大型重機が運び込まれた時、ガザの人たちは周りで、どんな思いで眺めていたのか…ただ黙って見つめていました。

イスラエルは驚くべき速さで証拠隠滅を進めています。瓦礫を粉碎し、残骸をトラックに積み、離れた場所へ輸送しています。ネタニヤフの「撤退しない」という言葉のように、イエローラインによって占領を拡大しています。

救急隊40人は手作業で17日かけて瓦礫から遺体を回収しました。骨のかけら、衣服の断片のみ、蒸発してもどらなかった196人、男性は担ぎ、女性の花びらを降り注いで、薄い国旗に包まれた亡骸に別れを告げました。

「私たちの家族の物語を語ってください」というガザの声にも世界は沈黙し、メディアも伝えません…308人も殺された事実がわかって、ガザの「ジェノサイド」で何人が殺されたのか、永遠に知ることはできないのでしょうか。

殺戮と破壊の中でも、平和に共存する文化を育ててきたパレスチナの人々は「歴史の天使」として、受難を通して「人間の尊厳」とは何かを訴えてきました。彼らの声を通して、私たちの主は世界中からむしり取って生きている私たちの姿を露わにし、回心を呼びかけています。

578

主の愛のながうちに

「われここにありわれをつかわしたまえ」

(1サ6・8)

Is your life a channel of blessing?
H. G. SMYTH, 1903 (UN)

MAKE ME A CHANNEL
H. G. SMYTH, 1903

おそく ♩ = 58

1. 主のあひのなぐちがうちにちのみちをみちもあにふれおるはず
2. ほろびりいゆきのなぐちがうちにちのみちをみちもあにふれおるはず
3. とおのびりいゆきのなぐちがうちにちのみちをみちもあにふれおるはず

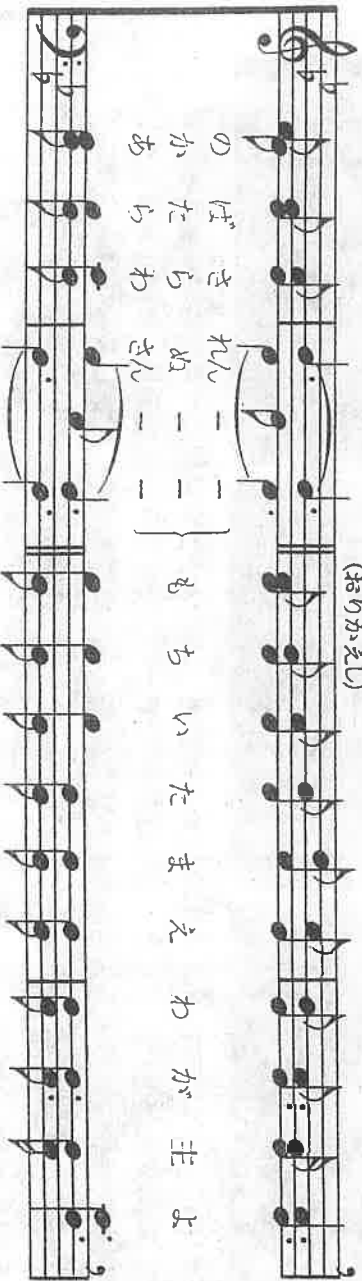


きや—主のちえにたてたまのちう(お)すはすみとさやびかかえにを

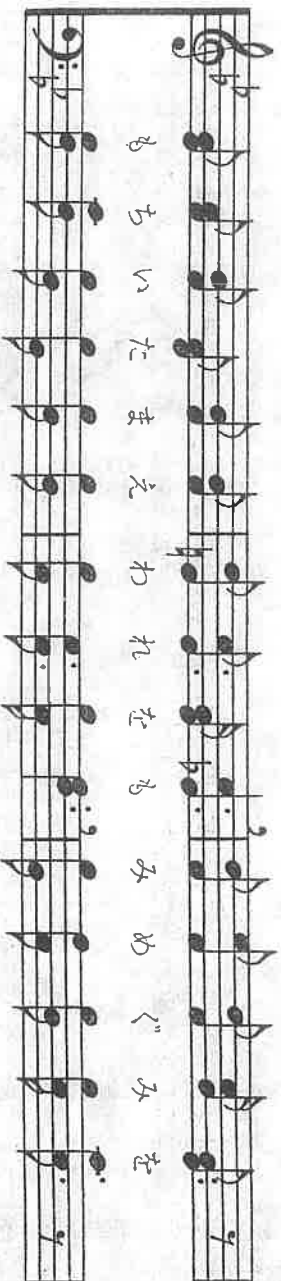


(おりのかし)

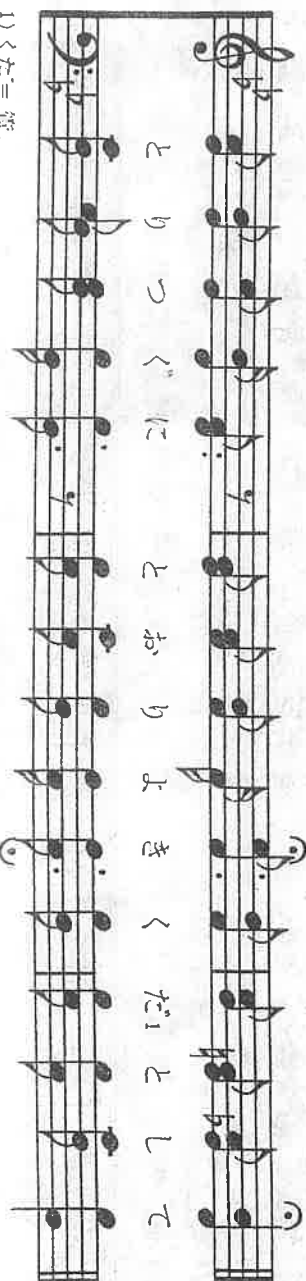
のかばさられん—もちいたまえわがまよ



もちいたまえわれをもみめぐみを



とりつぐにとおりのきくたとして



1) くた= 管。